



スピリット 常中魂

平成29年 3月24日 NO.77

〒311-1114 水戸市塩崎町1016
TEL029-269-2116
FAX029-269-3160
Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp

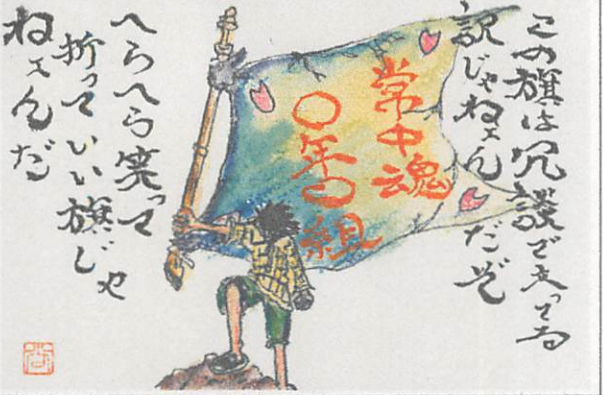
平成二十八年度を 終えるにあたって

平成二十八年度が今日で幕を閉じます。

皆さんにとって、この一年は、どのような一年だったでしょうか。私にとっては、充実の一年でした。今年度の三年生たちの業績に、頼もしさを感じ、彼らの育ちに感謝の気持ちをもっています。

この一年、校舎内外を歩き、教室の中もどろんどろん入らせていただきました。学期後半に感じたことがあります。

特別教室へ三年生(卒業生)たちが移動した後、無人になった教室を見ました。見渡すと、整然と並ぶ机や椅子、もちろん机の上には、モノが置かれていません。



へらへら笑って
折っていい旗じゃ
ねえんだ

この旗は冗談でええ
説いてねえんだぞ

卒業生以上に元気な声で！ “挨拶披露目録”



「二本ある手のうち、一本は人のために使う」
掃除ボランティア隊

昇降口、靴箱の中の靴は、全てカカトがそろっていました。また、ある日の雨の昇降口、雨が切られ、全てがきちっと閉じられて、整然と傘が並ぶ傘立て。 「おはようございます。」と、卒業生の多くが、こちらが声をかける前に挨拶の声をかけてくれました。そして、挨拶をしながら、ニコッと微笑んでくれる笑顔が素敵でした。

田村生徒会長が、集会ごとに前に出て、「集会には、どのような心構えで臨むべきか」「常中魂とは」と、全生徒に語りかける姿も、目に浮かびます。

三年生たちが卒業した今、在校生である君たちの幾人かは、左の写真に見られるような行動を起こしつつあります。この姿に安心し、新たな期待をもっています。

先輩たちが創り上げた校風(常中魂)を、今度は皆さんがどう受け継ぎ、発展させていくのか、楽しみです。一人一人が新たな計画をもって本年度を終えて下さい。一年間、よく頑張りました。よい春休みを送って下さい。

地域・後援会の皆様へ感謝

常中の特徴を一つだけあげると？
そう質問されたとき、皆さんはどう答えるでしょうか。
「部活動が盛んな中学校で、多くの部活動が好成績を取っています。」そう答える人もいます。では、部活動でよい成績を取ることができているのは、なぜでしょうか。「自分たちの努力の賜です。」そう答えるのでしょうか。
皆さんは是非、知っておいて欲しいことがあります。皆さんが部活に打ち込み、努力できるのは、「地域の皆様や、後援会の皆様の支えがあるから」、ということ。地域や後援会の皆様のご家庭には、中学生がいるとは限りません。

自分の子供が、中学校にいないとしても、皆さんのために動いてくださっています。各部で使う用具の一部、また総体などの市・県が主催となる大会のバス代の一部補助などは、地域の皆様の善意、後援会の皆様の努力(寄付金を集めるために、奔走していただいている)によって、実現できています。
もし、後援会費が無くなってしまったら、ご家庭の負担は一気に増え、生徒の皆さんの活動も制約されかねません。「見えないところで、努力してくださる人がいる。」このことを忘れずに、自らの努力を続けてください。



後援会役員会の様子(3月22日【水】)実施

